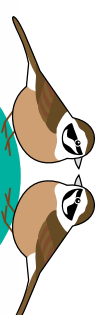




錦町議会だより

いっしょ



2016. NO

117

● 定例会・臨時会	2
● 議会基本条例	3
● 議会トピックス	4
● 7人が一般質問	5～11
● 傍聴席から一言・議会のうごき	12
● 軌跡	12

復興を願って！
(災害ボランティア参加)

6月 定例会

熊本地震関連の意見書3件を提出

「復旧・復興に係る財政措置」

「被災者生活再建支援法改正」

「行政庁舎再建についての国庫補助制度の創設」



平成28年第2回定例会は、6月13日から17日までの5日間の日程で行われ、平成28年度各会計補正予算6件、条例改正等4件、契約1件、報告2件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決し、議員発議で提出された熊本地震関連の意見書3件についても原案のとおり可決した。陳情2件については別添のとおり。

なお、今回の一般質問には、7人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

① 錦町議会基本条例

町民に信頼され、存在感のある議会運営のため制定するもの

② 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例

税率の改正に伴うもの（均等割、所得割の引上げ）

③ 錦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準及び建築基準法施行令の改正に伴うもの

④ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

関係出頭人、証人及びその他の委員の出務日当改正に伴うもの

報告

① 平成27年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

② 平成27年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

第3回臨時会

平成28年5月27日に行われ、平成28年度一般会計補正予算などの5議案が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

平成28年 第2回 主な採決

(賛成=○ 反対=×)

議員名	池田	藤川	岡田	金山	柳瀬	右田	守永	久保田	荒川	高田	土肥
陳情名											
「給付型奨学金制度の導入・拡充を求める意見書」を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青少年健全育成基本法制定の為の陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

町民に信頼され、存在感のある議会を目指して！ ～錦町議会基本条例を議決制定～

6月13日に開かれた議会本会議にて、「錦町議会基本条例」が議員提案により議決されました。この条例は平成26年に議会活性化特別委員会より骨格案が提示され、その間、議会において詳細項目の検討を続けこの度、まとめあげられたものです。

議会の役割として、効率的でわかりやすい議会運営と積極的な政策立案を行っていかねばならないという基本概念のもと、執行機関とは独立した対等な関係を堅持し、監視機能と立法機能を駆使して健全な町行政運営の実現を目指しています。また、議会議員として自覚し、議会は、町民主権を基礎とした町民の代表機関であることを常に意識し、情報公開の徹底を主眼に、また公正性・透明性・信頼性を重んじた活動をすべきと詳細項目である「議員政治倫理条例」を前面に打ち出した内容となっています。

錦町議会基本条例 目次

- ・前文
- ・第1章 目的
- ・第2章 議会活動
(主な内容) 町民に開かれた議会及び町民参加型の議会運営を目指す。
- ・第3章 議員の使命
(主な内容) 議員は、個別的な事案解決だけではなく、町民全体の福祉の向上を目指して活動しなければならない等。
- ・第4章 町民と議会の関係
(主な内容) 自己の地位に基づく影響力を不正に行行使することによって、町民の疑惑を招くことのないよう行動しなければならない等。
- ・第5章 町長と議会の関係
(主な内容) 本会議においての質疑は、広く町政上の論点を明確にする等。
- ・第6章 自由討議の拡大
(主な内容) 町民に対する説明責任を十分に果たさなければならない等。
- ・第7章 議会改革の推進
(主な内容) 時代に応じた議会改革を継続的に取り組む。
- ・第8章 議会、議会事務局の体制整備
(主な内容) 議会広報の充実により、多くの町民に情報提供を積極的に行う。
- ・第9章 議会の身分・待遇
(主な内容) 議員の報酬改正にあたっては、町民の意見、審議会の意見を尊重する。
- ・第10章 基本規範性及び見直し手続き
(主な内容) この条例に定める理念及び原則を遵守しなければならない等。
- ・附則

■一日も早い復興を願って

～災害地でボランティア活動～

熊本地震発生からやがて四ヶ月、被災地及び住民の方々は今なお終わりが見えない復旧・復興に懸命に取り組んでおられる状況であるが、議員も町民の方々と去る5月12、13日の二日間、西原村での瓦、木片等のがれきりや家財道具の搬送作業を行いました。

参加者は作業を通じて一日も早い復興を願うと共に、我が家が被災した場合、どのように対処すべきか、大きな課題を教えた貴重な経験をする事ができました。



議会トピックス

■町内の介護施設を視察！

～厚生文教経済常任委員会～

厚生文教経済常任委員会（6名）では6月定例議会中の6月15日(水)に町内の「介護サービス事業所」を視察しました。

「高齢化社会」を迎え介護サービスの充実が求められています。町内にある「介護施設」の実態把握と介護職員との意見交換を目的に初めて企画。

当日は健康保険課職員2名が随行。10時に「ニチイケアセンターにしき」を皮切りに一日かけて町内にある介護施設8ヶ所を視察。各介護施設職員の説明を受けた後意見交換を行いました。

「介護施設」で生き生きと過ごしておられる高齢者の姿が印象的でしたが、職員より施設の制度上の問題点などの提起もあり認識を深めることができ、今後の「介護サービス」を考える上で、貴重な視察となりました。



一般質問

町政のことが聞きたい

7人が登壇
(要約掲載)

熊本地震から学ぶこと、 住民の安全安心確保のために



荒川 孝一 議員

荒川 Ⅱ 防災訓練を今まで実施してきたが、今回の熊本地震の状況を精査すると、役場職員も被災者であり、被災した場合、業務を遂行できる人員は限られ、防災訓練どおりというわけにはいかない。そこで、業務継続計画BCP（内閣府が27年5月に発表したガイドで、〇首長不在時の代行順位と職員参集体制、〇本庁舎の代替庁舎、〇



全国から駆けつけたボランティア

電気水食糧などの確保、〇多様な通信手段の確保、〇行政データのバックアップ、〇優先業務の整理

など非常時対応マニュアル）を作成していくべきではないか。

町長 Ⅱ これまでの防災計画書は、主に風水害に関する件が多く、地震に対応する部分が少なかった。

指摘の非常時に優先すべき業務を特定することは、日ごろから頭の中ではわかっていたが、今回の地震を受け、被災自治体の対応ぶりを見ると、業務の執行体制や手順をあらかじめ整えておく業務継続計画の策定が必要であると思っている。このことから、既に5月中に各課から想定される課題、問題点を提出させ、係長級のプロジェクトチームを立ち上げ、検討を始めていく。

陸の孤島になった場合は？

荒川 Ⅱ 人吉球磨で大地震が発生した場合、交通網が寸断され陸の孤島となりうる。医療関係、投薬やドクター不在問題等が起こりうる。

町長 Ⅱ 広域での連携、これはまさしく重要だろうと思っている。医療、或いは介護など

人吉球磨市町村全体で連携のあり方をつくり上げていかなければならないと思っている。

荒川 Ⅱ どこまで準備をする。その範囲は私もわからない。とことん準備するとなると財政面では、おぼつかない。ただ私としては、議会議員として最悪の状態という前提で提議している。避難所において、高齢者、障がい者、妊婦、幼い子どもを抱えた方、継続投薬が必要な方など、いわゆる災害弱者に対して、今回の熊本地震関連の報道を見ると色々な問題が露呈した。「あー、こういう問題があるんだな」というふうな、交通網、水食糧等の大きな問題に比べ見落とされがちであるが、この災害弱者に対しての問題も、被災した場合、陣頭指揮を託するものが心得ているか、否かで差が出てくる。本町においても、自助、共助の構築を根ざしていくべきだ。

錦町の中で地域格差が生じているのでは？



岡田 武志 議員

生じているのでは？

めている。

ただ、女性消防団員は役場やＪＡ職員ばかりとならないようにしたい。

岡田Ⅱ 私もそう思う。女性団員には女性に合った活動、例えば、広報活動や団員の勧誘など。また、

ラッパ隊はトランペットを吹きますが、小中高校の吹奏楽部のほとんどが女性で、錦町にも、トランペットを吹くことの出来る女性もおられるのではと思う。

岡田Ⅱ 次に、各行政区の財政状態と地域住民に対するサービスのあり方についてだが、世帯数の多い分館で４４２戸、少ない分館で５５戸と約８倍の差がある。そうした中で今回は、防犯灯の設置について取り上げてみたい。

防犯灯の設置は町がやってくれるが、その後の電気代は地元負担である。予算的にも厳しい地区もあり、そういった地区への対応も必要では。

総務課Ⅱ 防犯灯の維持経費など、戸数の少ない行政区においては、厳しい状況にあると思われる。各区からの要望に応じて、ＬＥＤ化に努めて行きたい。

空家対策の現状とこれから

岡田Ⅱ 空屋は、人口減、高齢化、核家族化などの問題から増え続けていると思われる。難しい問題ではあるが、町民一人一人我家の現状と将来を考えていくことが必要だと思うが。

町長Ⅱ 空家の解消というのはなかなか難しいと思う。質問議員が言われるように、貸す側の気持ちも当然整理していかなければならない。

既に区長を通じていろんな調整をしており、今回、予算の中に不動産業者との調査項目も入っている。今後しっかりと進めていこうと思っている。

岡田Ⅱ 難しい問題ではあるが、次の世代を担う若い人たちのためにも、取り組んでもらいたい。

岡田Ⅱ 各行政区の抱える問題として、消防団の現状と各行政区の財政状況はどのようになっているのか。

消防団員は、全国に２２００団、約８６万人、その内２３、０００人が女性団員であり、錦町は、３７３名、全てが男性である。今回の熊本地震を通して、消防団の必要性が再認識され、今の時代、女性団員がいないのはおかしいのではないか。

町長Ⅱ 現在、消防の再編を進める中で、機能別消防団員及び女性消防団員をつくらうということで進



消防団入退団式

町の温泉で心身も和やかに…



柳瀬 みどり 議員

6年8月1日から設置されている。浴場は障がい者と介助者が同時に入るができる。平成27年度は15人の方が利用されている。

柳瀬Ⅱ私がこの質問をしたのは、介護者からの声があったからで、介護用の風呂に私も行って見てみた。とても良い施設であったが、昨年の利用者数は15件。少ないし、もったいないと感じたが。

町長Ⅱ介護用風呂は平成6年に作り平成20年にリニューアルしている。温泉センターを利用され高齢者の寿命を延ばすことも一つの目標とし、又、介助者にもゆつくりしていただくことに努め、しっかりとPRしていきたい。

子育てボランティアにもポイント？

柳瀬Ⅱ子育てボランティアにもポイント付与ができないか？

住民福祉課Ⅱ現在子育てボラン

フッ化洗口開始時期

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
H23 年生まれ						年中
H22					年中	年長
H21				年中	年長	小1
H20			年中	年長	小1	小2
H19		年中	年長	小1	小2	小3
H18	年中	年長	小1	小2	小3	小4
H17	年長	小1	小2	小3	小4	小5
H16			小3	小4	小5	小6
H15				小5	小6	中1
H14				小6	中1	中2
H13				中1	中2	中3
H12				中2	中3	
H11				中3		

むし歯保有率	H18	H27
4 歳児	73.3	59.7
5 歳児	70.27	49.13
1 年生	21.97	5.3
2 年生	47.01	22.4
3 年生	58.06	25.68
4 年生	78.76	40.11
5 年生	85.93	59.05
6 年生	88.33	68.85
中学1 年生	88.74	66.67
中学2 年生	95.59	70.25
中学3 年生	95.42	71.33

一人平均むし歯数	H18	H27
4 歳児	4.58	3.1
5 歳児	4.74	4.44
1 年生	0.5	0.07
2 年生	1.21	0.46
3 年生	1.67	0.53
4 年生	2.47	0.96
5 年生	3.64	1.72
6 年生	3.42	2.35
中学1 年生	5.54	2.44
中学2 年生	7.67	3.93
中学3 年生	9.67	4.27

ティアとして活動して頂いている方は、ほとんどの方が元役場職員で保育士として勤務されていた方ばかりでボランティアカードは考えていなかったが、社会環境の変化によってボランティアカードを作ることも必要になってくると思われる。将来的には予算化し実施する時が来ると考えるが。

町長Ⅱボランティアをする方にとって、ポイントを付与することによって不快に思われる方、或いは逆にポイントがつけば頑張りたいという方もおられる。そういう方の意見も聞きながら検討したい。

フッ化物洗口でどう変化してる

柳瀬Ⅱフッ化物洗口を始めてからの子どもの虫歯の保有率は。

健康保健課Ⅱ平成18年度と27年度で、年齢、学年ごとの虫歯の保有率と1人あたりの虫歯の本数を見た。年中年長児は乳歯、小学校1年生以降は永久歯での本数並びにパーセントとなる。(表で記載する)

「防災計画」の見直しを！ 熊本地震の教訓から



藤川 喜一 議員

い。すでに各課はプロジェクトチームをつくり検討に入っている。協議を重ね練り上げたい。

藤川Ⅱ 町民の間に、地震に対する不安が広がっている。災害は待ってくれない。11月と言わず早急に作成し町民に分りやすい「防災計画」を示してほしい。

町長Ⅱ さまざまな方面からも指摘されており努力していきたい。

藤川Ⅱ 震度7を二度も記録し県内に甚大な被害をもたらした「熊本地震」から多くの教訓を得た。錦町にも「人吉盆地南縁断層」が走っており震度7程度の可能性があると指摘されている。大規模災害への対策が急務である。従来の防災計画の大幅な見直しと検証が必要と考えるが町長の所見と見解は。

町長Ⅱ 今回の地震を受けて防災計画の大幅な見直しを検討している。今までの防災計画は風水害対策がほとんどで地震に対する部分が少なかった。11月をめどに作成した

「川内原発再稼働」については反対すべきと考えるが町長の見解は。

町長Ⅱ 再稼働については国の基準に基づいて国が決めたことであり、全く心配ないと考えている。

原発で福島第一原発のような放射能もれ事故を起こした場合の対応などは考えておくべきだ。シミュレーションしておかないと万が一の事態の時に対応できない。「防災計画」にも「川内原発事故」時の対応を盛り込んでほしい。

《旧人吉海軍航空隊跡地》 の活用 今後の方向性は。

藤川Ⅱ 木上地区に現存する戦争遺跡として戦後70年の節目ということもありマスコミの注目を集めた。町の貴重な財産であり戦争の愚かさ、悲惨さ、平和の大切さを伝える負の遺産として保存すべく積極的に努力されていることを評価する。プロジェクトチームを中心に調査中であるが、今までの経過を



現存する旧海軍地下壕



今後の利活用の方向性を伺いたい。

企画観光課Ⅱ 平成27年2月にプロジェクトチームを中心に調査研究を続けている。昨年度は専門業者に委託して測量調査も実施した。今後は調査を継続するとともに基地跡のガイドブックやリーフレットの作成案内看板設置や旧人吉海軍航空隊に関するホームページなどを作成する予定である。

藤川Ⅱ 「平和学習拠点」の視点が大事である。議会としても先進地研修も行つて報告提言をしている。今後の方向性については、有識者を含めた「検討委員会」を設置して進めてもらいたい。「整備基金」の設置についても、検討してもらいたい。

人吉盆地南縁断層を起因とする、地震発生における対策は？



守永 慶次郎 議員

守永 Ⅱ 先の熊本地震を教訓としてインフラ整備、被災者対策等あらゆる面で対策を講じておくべきであろう、町の考えは。

総務課 Ⅱ 人吉盆地南縁断層とは人吉盆地の南側を東北東から西南西に向って伸びる断層である。詳細については、今年3月末に町内全戸に配布している防災マップに断層の位置と震度予測を地図上に色分けして表示している。大規模な災害が発生した場合、災害対応の主体として動かなければならない。町としては、その対策をしっかりと

と準備しておかなければならない。そこで熊本地震を教訓としてプロジェクトチームを立ち上げ検討を始めたところである。

守永 Ⅱ この人吉盆地南縁断層は2013年に国の地震調査委員会が公表した資料ではなんと今回の熊本地震の布田川断層或いは日奈久断層帯より30年以内の地震発生確率が高いのである。過去にも1662年10月に球磨地震、1874年7月に人吉大地震が発生している。早急な対策が望まれる。第1次避難所として各公民館が指定されているが県内の165箇所の避難所が危険区域内にあると報道されていたが本町に該当する公民館はあるのか。

総務課 Ⅱ まず土砂災害警戒区域に近接する公民館は、京の峰集落センター、馬場公民館、迫北公民館の3公民館。浸水想定区域に位置

する公民館は、浜川集落センター、平良集落センター、由留木公民館、上十日市公民館、下十日市公民館、木上平岩コミセンの6公民館である。

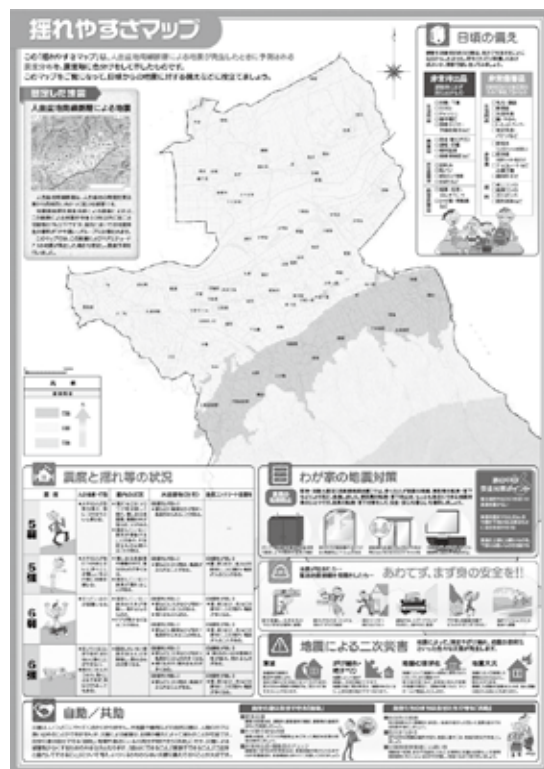
守永 Ⅱ 只今の9公民館は第2次避難所の公共施設への移動となるがその受け入れ可能人数だが、西コミセン140名、木上コミセン150名、福祉センター110名、

勤労者体育館725名、各小学校・中学校の体育館等総数で3400名程度である。町内全域に亘り被害を受けた場合は車中泊を余儀なくされる人々が大多数となる。仮

説住宅候補地も含め現在のどの場所が避難所となるか。

町長 Ⅱ 公有地では大王原公園、蔵人公園、蔵城公園が考えられる。合わせてがれきの集積場等相当な場所が必要となるだろう。プロジェクトチームに綿密な対策を検討させている。このことも含め早い時期に取りまとめるように指示している。

守永 Ⅱ 自分の命は自分で守るのが基本姿勢だが、災害に遭遇した時のノウハウ等防災に関する啓発活動をこれまで以上に推進されるよう望みたい。



全戸に配布された防災マップ

職員増により

住民サービス充実向上を



金山 民幸 議員

外勤務の状況は。

総務課 一人当り年休取得は8日、時間外勤務は選挙事務を除き85時間であった。

金山 制度上、年休取得は少ないと思うが、取得できない状況か、取得しないのか。又、時間外勤務において恒常的な係り或は職員はいないか。

総務課 取得できない状況もあるかもしれないが、家族行事等には取得していると思う。時間外勤務においては一部偏った状態が見受けられたので、事務分担の見直しにより配慮している。

金山 行政の仕事は住民福祉の増進に尽きる訳で、その担い手である職員の定員管理については、その時々々の社会状況等により適正な職員数を定めてきている。現状と定数条例職員数にかい離が見られるので、部局の見直しも含めた条例改正をすべきではないか。

総務課 条例定数112人に対し現状は95人となっているので、改正の必要性を認識している。今後、近隣自治体等の状況も考慮し職員定数の見直しに努める。

金山 今後も常に状況を把握され、職員の健康保持等のためにも事務分担や職員配置において適切な対応を要望しておく。又、派遣職員及び特別休暇職員等に係る代替職員及び非常職員の任用の考えはないか。

総務課 新規採用や非常勤職員の任用で対応している。今後も必要に応じて対応する。

金山 今後の職員定員管理の考えは。

総務課 財政面から今後の増員については慎重に対応すべきと考えているが、事務の多様化等を考慮し、本年度の行財政改革の主要事項として職員定員管理計画の策定に取り組む。

金山 町長は就任以来、行財政改革始め、あらゆる分野において日夜努力され、今日の町に発展したことは町民等しく認めているところだ。今後も行政運営は厳しいものがあるが、更に住民サービス充実向上のために職員の増員を強く思うが、所見は。

町長 地方自治は最少の経費で最大の効果を上げなければならない

い。その中で固定経費である人件費が一番掛るので、24年度人口が8,700人になった時に職員数をどれ位にもつていくかということが大事と考えている。今後、必要最小限の職員は確保していく考えだが、暫くの間は95人体制で維持して行くことを考えている。



執務風景

熊本地震で

防災上教訓として得たものは



右田 宣之 議員

右田 〓 4月14日及び16日熊本県で発生した震度7クラスの大地震は、これまでの地震概念を大きく変えるもので、本震規模に2回も見舞われるという大惨事となり被災者の方々が抛り所とされる避難施設も大混雑となり、中には避難施設が危険ということで違う施設に移動という事態にまで及ぶようなこともあったが、本町もあらゆる災害を想定し、第1次避難所54ヶ所、第2次避難所3ヶ所、第3次避難所5ヶ所を指定してあるが耐震構造面はどうか。

総務課 〓 第2次避難所の西・木上コミセンと総合福祉センター、第3次避難所の西・一武・木上小学校体育館と錦中体育館及び勤労者体育センターの8ヶ所全てが耐震構造となっている。

右田 〓 避難している方の心のケア面が非常に大切ということを今回強く印象づけられた。特に児童生徒については、授業に対する集中力が薄れたりするなど影響が出ているようだ。これらはいざと言う時よりも常に考慮しておく必要があると思うが。

教育長 〓 この点については、文部科学省からも通知があり、それを受け、各学校防災計画をもう一回見直すとともに、有事の際適切に対応できるよう指導している。

右田 〓 今年11月に予定されている総合防災訓練に地震を想定した訓練も考慮できないか、また、今回

のような大惨事を教訓にして、住民が力を合わせ絆を深め、共助の精神を育む訓練も大事と思うが。

総務課 〓 県主催で11月6日に予定されている県南地域の防災訓練は、大規模地震災害を想定した訓練である。

集団健診項目にピロリ菌検査を加えることは？

右田 〓 ある講演会に参

加した時、胃がんはピロリ菌除去でなくなるという話を聞き、しかも2013年にピロリ菌除菌の保険適用が実現したことで感染率も減少傾向にあるとのこと、今後更に末端浸透すると医療費抑制にもなるので、早期発見早期治療の視点からも、集団健診項目に加えることはできないか。

健康保険課 〓 胃がん発生の要因の一つとも考えられるので、今後予算等も含

め検討したい。

右田 〓 検査項目に加えてもらえるとしたら、検査費の助成も併せてお願いしたいが。

町長 〓 今、町の組織で健康づくり推進協議会があるので、その中で検査項目に加えるか、又、検査費の助成も含め、しっかりと検討をして行きたい。



集団健診項目にピロリ菌検査を加えることは？

議会のうごき

4月

1日	・議会運営委員会 ・全員協議会	11日	・町内各小学校入学式・錦中学校入学式
2日	・錦こども園入園式 ・一武保育園入園式	12日	・球磨地域振興局幹部との懇談会 ・例月出納検査（～13日）
3日	・錦町消防団入退団式	14日	・定例郡議長会
6日	・春の全国交通安全運動出発式	15日	・球磨郡監査委員協議会定期総会
8日	・球磨商業高校入学式 ・広報特別委員会	18日	・広報特別委員会
		21日	・広報特別委員会

5月

2日	・全員協議会	26日	・国道219号整備改良促進期成同盟会総会
11日	・例月出納検査（～13日）	27日	・人吉球磨広域行政組合議会臨時会平成28年第3回臨時会
12日	・定例郡議長会	30日	・全国町村議会議長・副議長研修会（～31日）
14日	・球磨商業高校体育大会		・西小学校運動会
15日	・錦中学校体育大会		
17日	・錦町慰霊祭		
20日	・錦町商工会通常総会		

6月

1日	・全員協議会	22日	・例月出納検査（～23日）
6日	・議会運営委員会 ・定例郡議長会	29日	・坂本人吉線改良貫通促進期成会総会
13日	・平成28年第2回定例会（～17日）		



傍聴席から一言



中村 信代さん

（錦町民生児童委員）

平成28年第2回議会（午後）を傍聴しました。ボランティア支援事業や児童生徒の歯の健康、熊本地震の教訓から防災計画の見直しの必要性、木上地区の戦争遺跡の今後の調査、利活用についての質問でした。

関係課からの詳細な説明報告、今後の方向性について話がありました。戦争遺跡の利活用という件には、これからどうなっていくのか解りませんが、個人的には疑問を感じました。今後、避けて通れない少子高齢化の問題、自然災害防災の為の物資、色々な環境整備の備え、暮らしの中では、商工農業に関する事業、厳しい時代に直面し、住民が安心して暮らせる町づくりの為に議会は小さな声にも耳を傾けて頂き、又住民は、錦町民としての責任を果たし、協力助け合う町であり続けて欲しいと願います。

軌跡

熊本地震でお亡くなりになられた方のお悔やみを申し上げ、被災された方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。5月12・13日にボランティアの募集があり私たち議会も参加した。私は12日に参加したが地震から一ヶ月経とうとしているのに、直で見る被災地の爪跡は、これが同じ熊本県なのだろうかと思うほど。ブルーシートの連なる屋根、地面がうねり、倒壊している家々、テレビや新聞からの想像を絶する風景がそこにはあり胸が詰まる思いだった。涙を流すことさえ、頑張つて耐えておられる方々に申し訳ない、そんな気持ちになった。私は被災した家から避難先へ家具を運ぶ手伝いをしたが、ちょうど終えた頃、その日から再開した小学校へ通う一年生の女の子が帰宅し、「私の机だ」「イスもある」と宝物をいとおしむように小さい手でなでていた光景が忘れられない。普通の生活がどんなに大切であるかということを知った。女の子によって深く思い知らされた。女の子と出逢ったことの軌跡に感謝したい。そしてこれからの復興に多くの幸せな軌跡が訪れることを願い信じていたい。今心一つに、支え合おう熊本。（文責 柳瀬みどり）

【広報特別委員会】

委員長 金山 民幸
副委員長 藤川 喜一

委員 荒川 孝一
柳瀬みどり

議長 市田 昇
右田 宣之

熊本県球磨郡錦町大字一武一五八七

TEL0966-3814421

発行日／平成28年7月30日

編集／錦町議会広報特別委員会

印刷／（株）協和印刷